

一九七七年二月一日第三種郵便物認可

発行所 社会通信社 発行人 滝野 忠

東京都渋谷区本町六丁目二八の二コーポル幡ヶ谷九〇四 電話(03)333771-4649 FAX(03)329915367
振替 〇〇一〇〇一九一五八四三一 労金 中央労金本店 No.1154163

購読料 月額 600円 6カ月前納制

〈もくじ〉

■巻頭言■

企業年金の大幅減額!

国内最高益、給付減額に根拠なし

NTT・東京の会……2

「春闘」の次の対象は憲法改悪

— 憲法問題と労働組合 —

編集部……3

大政翼賛政治に風穴を

伊勢 太郎……5

◇資料◇

参院選でイラク派兵反対、憲法生かす共同候補を

……6

朝日がサンサン、おやすみなさい

— 新深夜勤導入で生活は —

……7

窮地に立つブツシユ

— スペイン総選挙から —

……8

バルセロナ、三〇万人が街頭にあふれる

……10

イラクに派遣される自衛隊に

— 劣化ウラン弾による被爆の危険 —

芳川 廣一……11

野沢法務大臣の辞任を要求します

……13

読者からのおたより

……14

旬刊 社会通信

NO. 898

二〇〇四年四月二一日号

二〇〇四年四月二一日発行
(毎月一日・二日・二日三回発行)

企業年金の大幅減額！

国内最高益、給付減額に根拠なし

働く仲間のみなさん、NTTとNTT労組は、昨年十二月二日、①税制適格年金制度から規約型企業年金制度に移行、②給付利率等に市場連動制（キャッシュバランス制度）を導入、③給付利率を変動指標（十年物国債の表面利回り過去三年平均）＋〇・五％とする、などで合意し、二日九日の中央委員会で承認しました。

最大で数百万円の給付減となる今回の改悪は、退職、再雇用時に約束した企業年金の支給水準・内容を破ることになり、重大な信義違反でとうてい許されるものではありません。企業年金は、退職一時金の二八％を原資に年金として受取る制度として一九九二年（平成四年）六月に「定年制」の導入にともなって創設されました。創設時の理由は「退職後の安定的な生活保障を図る観点から、公的年金を補完する立場から」としています。

減額して退職後の安定的な生活保障がされるのでしょうか。しかも、給付利率、据置利率とも二〇〇一年に引き下げられたばかりです。確定給付企業年金法施行規則では、「実施事業所の経営の状況が悪化したことにより、給付の額を減額することがやむを得ないこと」と、給付減額については厳密な規程があり、今年度中間決算八四二六億円の国内最高益を出したNTTが給付減額しなければならぬ理由はまったくありません。

NTTは、改悪理由を①金利の低下で運用益が上がらない、②企業の業績が上がらないので企業負担ができない、③加入者の大幅な減少と既裁定者が増加した（東西で七万八〇〇〇人の退職・再雇用者）としています。希望退職、退職・再雇用に追い込んでおきながら、またも労働者に責任転嫁です。運用益に変動はつきもので、足りない部分は企業が負担するというのが企業年金の本来の趣旨です。二〇〇一年に引き下げられる以前から低金利は続いていたはずですが。

企業年金は賃金の後払いであり、特に退職・再雇用者は毎日の賃金が一五％カットされたうえに、企業年金までが減額されるなんて、とんでもない話です。どうしても支払えないなら、経営者としての責任がまず問われるべきです。

現行の税制適格年金制度では、受給者の一〇〇％の同意がなければ、給付額は減額できません。そこで、受給権者の三分の二以上の同意で変えることができる規約型年金へ移行していくというわけです。

提案によれば実施時期は三〇〇四年四月です。また、規約型年金に移行すれば、加入者の三分の二以上で組織する労働組合（NTT労組）の同意で加入者の同意とみなすことができるのです。あなたの力で改悪は止められます。改悪案は、既裁定者（退職者、退職・再雇用者）の三分の二の賛成で決定されてしまいます。逆に、三分の一以上の反対で止められます。改悪案に「同意」を求められたときは、はっきりと「不同意」の意思表示をしましょう。

（NTT企業年金改悪に反対する東京の会）

「春闘」の次の対象は憲法改悪

— 憲法問題と労働組合 —

連合はなぜたたかわない

労働運動は世界的に退潮している。しかし、欧米諸国では資本の合理化、政府の社会保障制度改悪に抗し、国民的なストライキ運動が展開されている。賃上げについてもそうだ。ドイツのIGメタル（金属労組）は四％の賃上げを求めたばかり、〇四年三月から〇五年二月までの一年間は二・二％、〇五年三月から〇六年二月までは二・七％の賃上げをたかいた。韓国労働運動に学ぼう」との韓国では民主労総一〇・五％、労総一〇・七％の要求を掲げ、これからたたかいは始まる。

これに対して日本は？ ユニオン連合の主要組合からストライキはおろか、賃上げ要求すら消えてしまった。なぜか。労働運動が全面的に再編成され、かつてのたたかう労働組合が、「たたかわない」労働組合に吸収・合併されてしまったからである。これにたいし、共産党系の労働組合からは「おれたちがいる」との批判の声が聞こえてきそうである。しかし、全労連系の組合は今だけではなく昔からたたかわない。つねに、「国民とともに」をくり返すだけだった。

焦点は「改憲」への条件づくりへ

21世紀臨調 ユニオン連合の中心組合を援助、飼育してきたのは日本生産性本部、そして社会経済国民会議だった。もつといえ、これら労働組合の方針は組合員・労働者ではなく、政官財学でつくられ、労働組合に持ち込まれたのだ。日本生産性本部と社会経済国民会議が統合し、社会生産性本部が九〇年代につくられてからの傾向はさらに深まった。今ここで論議されているのは、憲法体制の包括的検討だ。組合幹部と経営者が一つの席に会し、どうやって憲法改悪への道を拓くかを鳩首談議している。そしてすでにその基本方針は三つの「中間報告」として二〇〇三年に示されている。

労働組合には「日の丸」を大会会場に飾る労働組合もあった。かつての造船重機労連（現在は鉄鋼などと合併し基幹労連）である。

労働組合大幹部は政府・財界、学識者といわれるインテリやくざの甘言で、その多くが「支配機構の一翼」に組み込まれてしまった。そして今、彼らがめざすのが憲法改悪の条件づくりである。

連合 連合は三年前に会長・副会長・事務局長からなる連合「国の基本政策検討作業委員会」をつくり論議を開始。昨年（〇三年）七月に中間報告を発表した。この中間報告は造船重機労連のような組合と日教組のような組合との妥協の産物である。しかし、中間報告の背後にある考え方は①自衛隊は独立国家固有の権利、②日米安保条約重視、③憲法論議は否定しない、④論議はまだ未熟だから憲法改正を組上にのせることは時期尚早というもの。論議が「成熟」したら、「改正」を組上に乗せますとの内容だ。

自治労 連合では機関論議が積み重ねられてきた。この「中間報告」がどのように傘下組合におよぶのか注目しつづけた。まず動きが出たのは日本最大組合の自治労だった。昨年八月大会でのことである。自治労はこの大会で新綱領を提起した。しかし、新綱領は否定され、運動方針で提案されていた憲法問題で「国の基本政策の検討委員会」を設置し議論をすすめるとの方針はカゲに隠れた。

その内容は①拙速かつ強権的な改正には反対の立場で取り組む、②国民的な合意を前提に多面的に論議、検証し、個別に論議を深め連合に意見反映するというものだ。ここでもおぼえずと、しかし憲法改正への条件づくりが示唆される。先の中央委員会では、二〇〇五年五月の中央委で最終報告をつくるという。その内容については①安保や集団自衛権のあり方、②労働権・環境権、③人権・地方自治などについて「憲法の積極的平和主義理念の有効性を高め、市民生活に生かす」観点から議論をすすめるとする。

日教組 つい先日（三月一八日）、日教組が臨時大会を開いた。任期を終えた役員改選だけの大会かと思っていた。ところが、議案に『憲法論議対策委員会』の設置があった。昨年十月十八日、公務員関係労組が将来の「合併」を視野に公務労協をつくった。中心は最大組合の自治労だ。自治労はすでに「憲法問題検討委」を設置済みだから、どこに波及するかと思っていた。

日教組でも始まった。日教組の主張は①社民党が「憲法問題勉強会」設置を決めた、②連合も「中間報告」を出した、③「フォーラム平和・環境・人権」も内部検討を開始したと憲法論議の渦が大きくなった、バスに乗り遅れるなどというわけだ。

「憲法論議対策委員会」で日教組はいつたいなにをやるうとするのか。正確を期すため関連部分を引用する。

「日教組は、平和に関わる理論構築をこの間、十分に議論し、組織的に意思統一されているとは言えない。憲法に関わる議論がスピードを上げている情勢から日教組として組織的な対応が早急に求められている。よって、憲法改悪の立場を明確にさせ、護憲運動を組織的に強化するため日教組『憲法論議対策委員会』を設置する」

「憲法改悪の立場を明確」にするのであれば、なにも「憲法論議対策委員会」などややこしい委員会をつくる必要はない。日教組が「憲法改悪に反対」、「そのためかくかくしかじかのことに全力を上げる」と組織内外に宣明し、行動提起をおこない実践すればよいからだ。憲法と親子の関係にある教育基本法改悪問題、さらには「日の丸・君が代」で日教組というより、日教組組合員、教師は集中砲火を浴びている。しかし、日教組が一丸となって教師を守る、子どもを守る、父兄と共同する姿は残念なならない。

「春討」で何が

日本経団連は「春闘は『春討』になった」という。「春討」の中味は何か。労「使」が手を携え、「この国のかたち」を変えることである。だから、日本経団連の次の目標は21世紀臨調とともに、労組を「改憲」路線に引っ張り込むことにある。

（編集部）

大政翼賛政治に風穴を

「大政翼賛会」とは

「大政」とは天下の政治を意味する。これを冠とする政治用語は近現代史に二つである。一つは徳川の世を明治に変えた大政奉還（一八六七年）、もう一つはすべての政党が解散され大東亜共栄圏がめざされるなか近衛文麿を総裁につくられた大政翼賛会（一九四〇年）である。

大政翼賛会とは何か。手元に『新體制とはどんなことか』報知新聞社政治部編（一九四〇年十月八日発行）との紙魚（しみ）にまみれた本がある。表紙には「公爵近衛文麿閣下題字、伯爵有馬頼寧閣下序文、海軍大将末次信正閣下序文」と大書されており、見開きには「惟フニ萬邦ヲシテ 各々其の所ヲ得シメ 兆民ヲシテ悉ク 其ノ堵ニ安ンゼ シムルハ 廣古ノ大業ニシテ 前途甚ダ遼遠ナリ 爾臣民 益々国体ノ觀念ヲ明徴ニシ 深く謀リ遠ク虜リ協心戮力非常ノ時局ヲ克服シ 以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ」の詔書（天皇の言葉を書いた文書）、そしてそのすぐあとに「一億一心」との近衛の手になる題字が躍る。

「一億一心」を呼号する新体制とは何か、を説くのが有馬だ。有馬は「政治が革新されねば、その他の革新は望まれない。そこで国民全部が協力して政治の万民翼賛体制を打ち立てねばならないと思ふ。かういふ新しい政治体制を作るのが今回の新体制運動である」と力説し、さらにこうつけくわえる

「新体制が徒らに国民を拘束するといふやうな考え方は持たれたくない。今後経済方面でも、国民生活でも、その他でも、今日以上に窮屈になることは考えられるが、それは全国民が必要だというふうことを心構へにも、行動にも、自覚するようにならねば駄目だ。そのためには政府の政策なり、意志なり、行動なりが国民に徹底するようにならねばならぬ。その気持ちがあつかり国民の心に喰い入らねば駄目だと思ふ。新体制の一番大きな狙ひはそこにある。」

この新体制の運動が「大政翼賛運動」であり、政治組織が「超政党的の国民運動」としての大政翼賛会である。

くり返される歴史

中曾根が行政管理庁長官時代―たしか一九八〇年前後だから、もう二十数年前のこと―に、「お座敷をきれいにし立派な憲法を安置するため行革に邁進する」と言ったことはよく知られる。しかし、それ以上に重大な発言が見逃されてしまった。中曾根はこう言っていた。「書かれた憲法が憲法ではありません。憲法を作り直す運動が憲法だ」とも。自党内では、大政翼賛会に象徴される「新体制運動」の伝統が脈々と受け継がれていた。近衛を総裁とした大政翼賛会は昭和研究会で構想され、そこには三木清のような学者すら動員された。

中曾根は昭和研究会を模して第二臨調をつくり、その後行政改革にかんする機関には

第二臨調の人脈と手法が継承された。現代の「昭和研究会」が一九九三年に発足した政治改革推進協議会（民間政治臨調）であり、それが再組織された新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）である。

自民党の中核はこのように第二次世界大戦前までの日本の歴史、伝統、文化とほめたえ、愛国心をふり回す。「国を愛する」とはどういうことか。生活が本質を示している。「国旗・国歌法」、日の丸・君が代に敬意を表さぬ者は罪一等に値する、国賊だとの大弾圧であり、自衛隊を批判する者への刑事弾圧だ、さらに極めつけの法改正までおこなわれようとしている。「緑の日」を「昭和の日」に変えようというのである。そして、戦争である有事三法案に関連する法案の数かずである。

自民党と民主党は保守化現象を競い合う。民主は自民を突きあげる。たとえば「北朝鮮にもつと強い姿勢をとれ」と、外為法や入港法を定めようというようである。自民党が望む保守化はこうして、何もしくなくても民主に譲歩することによって、さらに加速されていく。

「護憲」の共同候補擁立

経済、政治、労働等々の法体系はすっかり変えられた。残るは労組法、教育基本法、そして国家目標を示した憲法のみである。その憲法、教育基本法に包囲網がつくられている。憲法を変えてしまいたいとする政治勢力は自民、民主、公明、憲法九条、二五条は死守しなければならぬとするのが共産、社民党で、この二つの政党の国会議員数は圧倒的少数とされた。

このままでは憲法は改悪され、その時は自民、民主は「挙国一致」を叫んでいる可能性も否定できないから、政治は第二次世界大戦前の大政翼賛政治になってしまうことも考えられる。「憲法改悪を許さないため、護憲派議員をつくろう」と呼びかけがおこなわれ、候補擁立の試みが進行中だ。以下はその趣旨説明である。

◇資料◇

七月参議院選挙でイラク派兵に反対し憲法を生かす候補を共同で立選ませよう

①多くの国民の反対にもかかわらず有事立法制定、イラクへの自衛隊派遣・派兵、憲法改定検討会議の設定など、今は、戦後ではなく戦前であると言われる時代相を呈しています。今年七月に実施される参議院選挙は、日本が再び戦争国家への道を進むか、世界に冠たる平和憲法を維持できるかの境目の選挙になることは明らかです。このままでは、国会で平和憲法を守る勢力は、三分の一を切ってしまいます。

②今回の参議院選挙は、この流れをくい止める杭をしっかりと打つために逃すことのない機会です。そのためには、このことに賛同する各政党のそれぞれの候補者を、それぞれが応援するだけでは不十分です。それらに集まる票は各政党に分散してしまうため、当選者数は激減してしまい、イラク派兵に賛成し、憲法を戦争が出来るように改悪しようとする勢力には勝てません。党派・グループを越えて、「イラク派兵の撤退、平

和憲法を生かすこと」に賛同する候補者を、みんなの力で当選させましょう。

③ 具体的な運動は、「平和憲法の会（略称・平和）」（予定）という確認団体をつくり、各政党・会派の全国区の予定候補者を、この確認団体の候補者として名簿を届け出て、この確認団体と候補者に票を集中させるというものです。この確認団体で独自の候補者を立てようというものではありません。この場合、この確認団体の候補者となる方は、その政党の候補者としては登録出来ませんが、それぞれの政党を脱する必要はありません。政策はこの確認団体の基本的政策を掲げるとともに、それぞれ独自の政策を掲げて戦うのです。私たちはこれらの候補者の個人に、または「平和」という団体に投票するよう、有権者に呼びかける運動をします。いわゆる無党派、これまで投票にいつても仕方がないとあきらめていた人たちに呼びかけるのです。

④ 投票は、個人名でも「平和」という確認団体名でもよいのです。それらの票を全部合計することにより、総得票数で確認団体の当選者数が決まります。

⑤ 選挙区（各都道府県選挙区）は、憲法を生かすことに賛成する各政党の候補者のうち、最も当選の可能性のある人に票を集中するように応援するのです。確認団体としては、独自の宣伝カーも使用できます。

⑥ 以上のような方法で、この統一候補による選挙に参加するよう、各政党、会派に協力を呼びかけます。呼びかける政党・会派は、社民党、みどりの会議、新社会党、沖縄社会大衆党、共産党、そしてこの趣旨に賛同して候補者を立てようとしている政治団体・市民団体です。

⑦ 確認団体の名称は、「平和憲法の会（略称・平和）」を予定しています。

朝日がサンサン、おやすみなさい

— 新深夜勤務導入で生活は —

二月から「郵便事業における効率的な服務方法」の実施に伴い、福知山郵便局でも「新夜勤（6H+8H深夜勤）+調整深夜勤（10H）」が導入された（近畿管内の他の関係局は、四連続「深夜勤」となっている）。看護婦さんは、三連続の夜勤の勤務があると聞いたことがある。では、私にとって初体験となるこの勤務を紹介してみよう。

一日目〜二日目：一六時三五分から勤務につく、翌朝八時四五分勤務終了… 列車通勤であるが、発車時刻まで、一時間以上待たなければならぬため、自家用車通勤で（局構内駐車許可証の交付を受ける）家路に…

二日目〜三日目：帰宅後風呂に入り、麺類を食し、就寝（昼は食べない）。一七時三〇分起床：晚ご飯を食し家を出る。途中ネオンを見、居酒屋からのいい匂い、勤務が終わり帰宅される方とあいさつを交わし宮津発一九時〇六分の列車に乗る。二〇時三〇分から勤務に就き、翌日七時三〇分勤務終了… 七時四八分発、快速に乗るため駅に急ぐ。「おはようございます」「今から帰ります」「ご苦労さん」、駅に急ぐ途中出勤される方

に出合うときのあいさつである。昔、こんな歌がありました…、「朝日が昇るころ社長さんは帰る、ああいい気持ち、どうして朝日は昇るのか…」

今の社長さんは、朝まで働きません。私は、ただただ眠いだけです。

▽妻の立場から ○四年二月八日より、深夜勤が始まってしまいました。夕方出勤して、朝帰ってきて、寝て、また夜出勤して翌朝、帰宅です。この一クルーで、三日分の仕事だそうです。みていると、ほんとう大変そう。身体も心配です。昼間眠るのは、なかなか難しいらしいです。家庭的には、二日連続で夜あけられるのは、正直つらいところです。「何が」って、お風呂が大変。冬場は風邪をひかないようにしたいのに、湯上がりにも助けがないのはしくしく(涙)ものです。でも、慣れていなくなっちゃいますか？みなさま、お身体お大切にして下さいね。

▽子の立場から お父さんは、なぜか帰ってこない。家にいるとすぐに大きな声でおこるから、ボク達だっていつもピリピリ。慣れっこになってきたけど、二日もないときさすがに気が抜けちゃう。お母さんはおかしさを晩ごはんにするし、手をぬいちゃうんだもん。

父さんは、やっぱり居てくれるといいなと思う。でも、明けの日は、いつもより早くスイッチが入って、しかられるからなあ。やっぱり、仕事行く？

▽夫の立場から わたしだって、家庭を大切にしたい。妻には、全くとって手伝いにならぬとぐちられ、子どもからは遠巻きに様子をうかがわれ、さっぱりいいところがない。深夜勤が導入されて、ボ…ッとするのは、休みにまで及んでしまう。身体が慣れていくのか、心配である。こんな状況でも郵便の仕事が好きだと思ってしまう自分がとてもかわい。仲間がいるから頑張れるんだと思う。しかし、しかしねむたい！

『日刊ちゅうたん』

窮地に立つブッシュ

— スペイン総選挙から —

「パンドラの箱」を開けてしまった

ヨーロッパ大陸西端、イベリア半島東部の国スペインで、「革命」が起きた。「イラク撤兵」を公約に掲げた社会労働党が三月総選挙で勝利し、「イラク撤兵」が現実化する可能性がとつじよ浮上したことである。

スペインの保守党である国民党はブッシュとブレアのもつとも良き同盟者として率先してイラクに派兵した。その数千三百人でNATO軍の主力をになう。そのスペインがイラクから撤兵するかもしれないのだ。

イラク戦争は開戦時よりもっと深刻な戦争状態にある。ブッシュはイラクに攻め入ることで、パンドラの箱のフタを開けてしまった。ブッシュはイラク戦争の目的として①大量破壊兵器の排除、②同兵器の輸送断絶、③潜伏テロリストの拘束、④テロリストの

ネットワークの情報収集、⑤兵器製造や輸送の情報収集、⑥支援物質の供給、⑦土地や資源の住民への返還、⑧自治政権への移行の八つをあげた。

戦争開始のいちばんの理由とされた大量破壊兵器査察のため国連査察団を率いてイラクに乗り込んだブリスク委員長は、「大量破壊兵器はない。イラクは脅威ではなかった」と言ってはばかりぬ。治安・生活にいたっては、ギリシャ神話の「プロメテウス兄弟とパンドラ」ではないが、「黄金づくり」の箱をあけたとたんに病氣、ぬすみ、ねたみ、憎しみ、悪だくみなど人間を苦しめるありとあらゆる悪がのさばった。いちばんの悲劇は世界で一、二を争う石油産出国のイラクでのガソリン不足である。

イラク国内では毎日のように兵士、C P A (暫定占領当局)を支持する人たち、国民が死んでいく。テロはイラクに内戦をつくり出すかのような規模になり、ブッシュと同盟する国ぐにを襲う国際的なテロ活動に発展する様相を強めている。イラク侵攻はテロをおさえこむどころか、テロを拡大し、燃え上がらせてしまったのである。

テロ、ウソで情勢は急変

スペインで当初優勢を伝えられた国民党が敗北したのは、投票日前日、スペインで大規模なテロによるものだった。スペインは自治と分権の国である。その典型がバスク地方でこの地の住民二百二十万人はスペインから分離・独立を求める。これが「バスク祖国と自由」(E T A)で、武闘路線を展開する。アスナール国民党政権はE T Aを徹底的に封じ込め、E T A撲滅宣言を發した直後の同時テロだった。

国民党の敗因は、「テロの犯人はE T A」と首相みずから誤った情報を流したことに よるようだ。その直後、アルカイダの関与かという情報がいつせいに流された。スペイン国民は当初八〇〜九〇%が派兵に反対だった。しかし、流れに流され、既成事実が積み上がっていった。しかし、首相のウソ発言で事態は一変した。

自治と分権の国

スペインは自治と分権の国だ。国民党と社会労働党、共産党などの選挙連合党である統一左翼が全国政党としてある。しかし、バスク、カタルーニャ、ガレゴ、カナリアなどでは地域政党が大きな力をもつ。

日本では上から進められる市町村合併を地方分権など理屈に合わせることが、学識者から平気で論じられる。実際は地方自治を押しつぶす中央集権体制、国家主義の強化ではないかというのである。スペインは過去の栄光と悲惨をあわせもつ国だ。古典文学中の古典であるセルバンテスの「ドン・キホーテ」はあまりにも有名だし、中南米から銀・金など財宝を略奪し無敵を誇ったイサベル女王時代、米英に敗北した一八〜一九世紀。現代史でスペインを彩るのが一九三〇年代のスペイン内戦時代である。この内戦はピカソ、カザロスのような大人物を生んだ。

フランコによるファシヨ政治は一九七五年十一月二〇日、彼の死までつづいた。社会労働党の若き指導者フェリペ・ゴンサレスが政権を手にしたのは一九八二年十月で、ゴ

ンサレス政権は一九九六年までつづいた。その後、政権党となったのが保守の国民党である。

歯切れいい新首相

今度の総選挙（下院・定数三五〇）の結果は社会労働党一六四（プラス三九）、国民党一四八（マイナス三五）、地域政党三八（マイナス四）であるから、絶対過半数ではない。したがって、地域政党との政策協定となる。

新首相に予定されているサパテロ氏の言は歯切れいい。

① 占領諸国が主導権を国連に移譲するような変化が起きない限り、スペイン軍は帰還する。イラク駐留期限は六月三〇日だ。

② ブッシュ米大統領とブレア英首相は反省し、自己批判しなければならない。ウソによって戦争を起したりしてはいけない。

③ 軍事介入は、国際秩序や国際協力を追求し、国連を守るという意味で政治的誤りだった。

④ 介入と占領は大失敗だった。

サパテロの首相就任は四月中旬が予定されている。ブッシュ、ブレア、そして小泉には打撃であるにちがいない。

バルセロナ、三〇万人が街頭にあふれる

三月二〇日、バルセロナ（スペイン）で国際反戦集会、デモに参加した。夕方五時には、市内の中心広場カタルーニヤ広場とそれに通じる道路に、グループごとに集結し、カタルーニヤ旗を先頭に出発。参加者は、お年寄り、若者、小学生、赤ちゃんをつれた家族で、みんな、「戦争反対」のバツジ、ワツペンをつけ、太鼓を先頭にして行進したり、途中でダイ・インを行なったり、「NO A LA GUERRA」（戦争反対）のシュプレヒーコールをしながら行進していた。参加グループは、政党は、国民党を除く全政党、社会労働党、カタルーニヤ左派、カタルーニヤ同盟、統一左翼、カタルーニヤ緑の党、続いて労働組合、学生、在バルセロナ・イスラム教信者、女性団体など、主催者発表で三〇万人、警察発表で一五万人という人が参加。沿道の家々の窓からは、手を振って応援していた。

デモの終了地点の海岸近くのパウ・ビーラ（平和村）広場まで、ライエタナ通りとカタルーニヤ広場は人でつながっていた。終了地点では、デモ隊を待ち受け、マイクでの訴えが続いた。

次期首相のサパテロ書記長は、「エル・パイス」（全国紙）のインタビュウで、「イラク戦争は失敗、理性的でなく、国際的な協調なしに行なわれ、占領、占領統治はめっちゃくちゃ。人々は、新植民地主義を感じている。テロリズムへの対応は、理解の共有であって、戦争ではない」と国連の関与のない連合国のイラク派憲からの撤退を表明している。

（西垣）

イラクに派遣される自衛隊に

—劣化ウラン弾による被爆の危険—

一九九〇年の湾岸戦争と今回の米・英によるイラク侵攻の二回にわたり、イラクは「劣化ウラン弾」という放射能を含む兵器の攻撃にさらされ、全土に深刻な放射能汚染が着実に拡がりつつあります。これは攻撃を受けたイラク側だけでなく、湾岸戦争に従軍したアメリカ兵約七〇万人のうち、二三十万人が一生後遺症の残る障害によって、軍の傷害保険を申請していると言われています。また、劣化ウランの影響で、既に一万五〇〇〇人が死亡しているのではないとも言われています。(元リバモア核兵器研究所ローレン・モレ女史)

劣化ウランの特性……劣化ウラン弾とは

原子力発電所や核爆弾の燃料となるウラン235の量は、掘り出されたウラン鉱石の1%にも満たない0・7%で、残りの九九・3パーセントの殆んどはウラン238で、濃縮ウラン燃料の精製の過程でこの大量に生み出されて金属性物質となったものを「劣化ウラン(金属ウラン)」と呼んでいます。

この種々の工程で使いようもなくなった金属ウランの比重は一八・七で、鉄の比重の七・八六、鉛の比重の二・三四に比べてみても分かるように非常に重く、且つ水溶性の物質となっています。

このように原子力産業や核兵器産業の副産物で資源価値の無くなった放射性廃棄物の劣化ウランは、その重さと硬さと安価さという利点から、先の湾岸戦争、今回のイラク侵攻に際し、再度にわたり、米・英軍の対戦車砲の砲弾として利用されています。

高速で撃ちだされたウラン金属が戦車の鋼鉄板に当たると超衝撃力のためウラン金属は高温で発火し、鉄板を溶かして内部で激しく燃焼し、搭乗員を焼き殺すことが出来ます。このとき数ミクロンの微粒子となったウラン粉末は環境に飛散し、これを吸い込むと肺に取り込まれ、肺ガンなどの放射線障害を引き起こします。

また戦車等に当たらなかつたウラン弾は地中に深く突き刺さり、土の中の水分と反応して水溶性のウラン(全くの水溶性ではない)に変質し、地下水を汚染し、生態系を通じて循環し、水や食物を通じて胎児や乳幼児に大きな影響を与えます。

十一年前の湾岸戦争で初めて使用された劣化ウラン弾の放射線により、米国の帰還兵に健康障害が多発しており、イラクやバルカン半島の子供達に先天的異常児・奇形児やガンが頻発し、死産や流産が非常に増えているのも劣化ウランが原因なことは明白だと言われています。

藤田祐幸先生(慶応大学)、衆議院特別委員会参考人で意見陳述

昨年七月、いわゆる自衛隊イラク派遣の「特別措置法特別委員会」に於ける特別参考人の藤田祐幸先生(慶応大学)の、実際に現地イラク調査を踏まえての意見陳述によれば、劣化

ウラン弾は、単に対戦車砲としてだけではなく、民家や工場まで故意か誤ってか広く自衛隊の派遣されている南部サマワを含むイラク全土に撃ち込まれているという事です。

またバンカーバスター（超貫通爆弾）攻撃の際に出来たクレーター（地下二〇メートル〜三〇メートル貫通）からも劣化ウランからの放射線が検知されたということです。もしそこまでウラン金属が撃ち込まれているとすれば、近い将来に地下水の汚染が大変なことになると深く憂慮される所です。

自衛隊の派遣されたサマワは大丈夫なのでしょうか。少なくともサマワの地上のそこかしこの砂塵の中に大なり小なりの放射線に汚染されたウラン粉塵が含まれていることは確実です。

去る二月五日の参議院予算委員会での社民党福島瑞穂議員の質問に対する首相と防衛庁長官の不勉強ぶりには、テレビを見ていて、私は呆れて思わず「馬鹿」と声をあげたのでした。一国の首相が「アルファ・ベータ・ガンマの三つの放射線」の知識が無いのは止むを得ないと思います。然し、いま、劣化ウランで汚染されたイラクに自衛隊を派遣する以上は、小泉首相や、ましてや石破長官が全くの不勉強では大変なことになります。

今回、派遣隊員が携帯する放射能測定器は、原発内での作業用として広く使われている測定器で、反応するのはガンマ線で、ミクロン単位の劣化ウランの放射性微粒子が呼吸で肺に入り体内被曝を引き起こすアルファ線を測定することは出来ないのです。測定することが出来ないのに、測定出来ていると思ひ込んで行動する自衛隊員の前には大きな危険が待っていると言わざるを得ません。

劣化ウラン弾こそ、民族の生存を脅かす大量破壊兵器

国際法上、兵器には四つのハードルがあると言われています。①兵器は戦争が終わった後も人を殺し続けてはならない、②環境を汚染してはならない、③戦場の範囲を超えて殺したり影響を及ぼしたりしてはならない、④非人道的殺し方をしてはならない、として、国際司法裁判所は既に核兵器を違法だと禁止しており、国連の国際人権委員会二〇〇二年の文書には、「劣化ウラン弾は大量破壊兵器である」と明記されています。

然るにいま世界の二〇ヶ国あまりが既に劣化ウラン弾を軍備に取り入れているといわれています。軍事的であれ、商業的であれ、ウランを取り扱う技術によって生み出される放射能は、半永久的に人類の運命を左右します。原子力産業の廃棄物がイラクの大地に降り注がれ今後イラクの子供たちは逃れることなく、これを運命として悲劇を受け入れなければなりません。

人類最初の被爆国日本は、被爆者に対する多くの医療サポートの蓄積があります。イラクのバスラ母子病院には既に多くの子供達が白血病や腎腫瘍で入院しており、イラク全土に涉り、悪性腫瘍や先天的機能不全等の人達が入院治療を受ける日を待っています。

平和憲法の旗のもと、われわれは一日も早くこれらの人達に手を差し伸べましょう。日々の被爆状態の防止対策、母子センターの拡大、小児がんセンターの建設を！ 広島・長崎の被爆者治療の経験を踏まえた医療チームの派遣を！ 二・二兆ドル相当といわれる

石油と、中東の植民地的支配を目指すアメリカの野望の尻馬に乗って、大義なき自衛隊派遣は直ちに止めさせなければならぬと思います。

(芳川 廣一)

注1：劣化ウランの半減期

劣化ウランは主要にはアルファ線を放出し、半減期（放射線の量が半分に減少する期間）は地球の歴史にも匹敵する四十五億年である。ちなみに――

劣化ウラン ……半減期 ……四五億年

プルトニウム239 ……半減期 ……二万四千年

コバルト60 ……半減期 ……五・三年

ストロンチウム90 ……半減期 ……二八年

クリプトン85 ……半減期 ……一〇・八年

野沢法務大臣の辞任を要求します

野沢太三参議院議員・法務大臣は、三月三〇日に開かれた憲法調査推進議員連盟(中山太郎会長、衆参三一七人の国会議員で構成)の総会において、その副会長に就任しました。これは、現職の法務大臣として絶対に許されることなく、私たちは野沢参議院議員がただちに法務大臣を辞任することを要求します。

憲法調査推進議員連盟は、「新時代の憲法について議論を行う」(設立趣意書)との目的のもとに、これまで自民、民主、公明等各党が憲法改悪を促進するための論議を重ね、また、「憲法改正国民投票法案」の作成など、憲法改悪の準備作業をおこなってきた運動組織です。野沢法務大臣の議員連盟副会長就任は、改憲運動を主導する意思の表明にほかなりません。

法務大臣は、閣僚の一員として「憲法を尊重し擁護する義務」(憲法第九九条)を負うだけでなく、「基本法制の維持及び整備、法秩序の維持」(法務省設置法第三条)という特別の責務を負っています。野沢法務大臣の行動は、これらを公然と踏みこむものです。

とりわけいま、自衛隊のイラク派兵など憲法の破壊がかつてない規模でおこなわれ、これを追認するものとして第九条を中心とした憲法改悪の動きが強まっています。

野沢法務大臣の憲法調査推進議員連盟副会長就任は、こうした動きに拍車をかけるものであり、日本の政治が憲法にもとづいて行われていないことを内外に示すものであり、立憲主義への不信を高めるものといわざるをえません。

私たちは、重ねて野沢法務大臣の辞任を強く要求します。

二〇〇四年三月三十一日

憲法改悪阻止各界連絡会議、「憲法」を愛する女性ネット、憲法を生かす会、

市民憲法調査会、女性の憲法年連絡会、平和憲法21世紀の会

平和を実現するキリスト者ネット、許すな！憲法改悪・市民連絡会

◇ 読者からのおたより ◇

時間外拒否闘争に突入 私たちは〇四年春闘勝利に向けて三月三日、月例賃金の一律五万円引き上げをはじめとする七項目の要求書を提出してきました。三月九日、N T T東日本との第一回の交渉テーブルに着きましたが、会社側は「退職再雇用制度」についても、「貴方が好きで選んだ問題」ごときに発言をし、また「通勤時間は労働条件でない。通えなければ社宅に入ればよい」という不誠実な態度でありました。このままでは三月一五日回答予定の七項目要求についても期待できません。三月十二日、全労協統一行動で国会請願を成功させた私たちは、要求前進のために、執行委員会は全労協の仲間とともに時間外労働拒否闘争に突入することを宣言します。

(東日本N T T関連合同労組執行委員会)

組合機関紙から ある労働組合の機関紙に目を通しておりましたら、春闘、学習について組合員の声に掲載されておりました。春闘については、「増収なくしてベアは期待できません。まずは増収を図り、働きやすい労働環境の整備を目指すことです。そして増収を実現してのち、堂々とベアを要求すべきだと思います」という声、もう一つの声は「前回の春闘に参加してみても、春闘は日々の業務を振り返り、労使関係や自らの労働状況を改めて確認するという意味でも、非常に重要なものであるということを知りました」というものです。読者諸氏はどうお考えでしょうか。また学習会・講演会については「もう少し講演者と参加者の間で意見や質問のやりとりができるようなスタイルにし、様々な講師に依頼してみる工夫も必要」というもので、納得です。

編集部より 今日労働運動が直面する問題そのものです。ぜひご意見を。

(東京・T)

イテコマシテやる 「国を愛する心」というのが解らない。なぜ「世界を愛する心」「人類を愛する心」「人を愛する心」ではないのだろうか。四・二八処分は「差別を許さない」越年闘争への報復処分だった。「差別を怒る心」は「人を愛する心」であり、「国を愛する心」の対極にある。官僚の中でも、文部官僚と郵政官僚がもっともワカラズ屋で反動体質を持っていると言われてきた。両者を串刺しにイテコマシテやることは四・二八闘争はめざす。

(郵政四・二八免職者N)

職場復帰 横浜人活事件で職場復帰を勝ち取ったけれど、J R採用ではなかった。私も人活センターに強制収容された。国鉄分割民営化反対闘争にたいする「デッチ上げ事件」であった。「やりすぎだ」との声もあったが、国家権力とのすさまじい職場闘争であった。氷山の一角の事件にすぎないと思う。国家権力は解雇された千四十七人を今日もまだJ Rに採用しない。自分たちの非を認めようとしている。

(埼玉・H)

編集部より おっしゃるとおり。でも、千四十七人の解雇撤回にはきわめて大きな意味。だって、鉄建公団に責任、採用の義務があり、それを実現できることを証明したのであるから。鉄建公団訴訟の重大な意義はここにあります。

ターさんの違った面!? 先日は稚内までご足労いただきありがとうございました。我が家の廣子もターさんの知らない一面と接することができ、とてもよい交流ができたことと喜んでおりました。嘉津子さんには大切な資料を送っていただきながら読むことも十分ではなく、なにも進んでいないが現状です。介護保険問題が出てきた頃の文章を読んでもいたのですが、当時、自分なりになかなか理解できなかった事柄も少し頭のなかで整理できるような感じがしています。稚内もようやく春のきざしで雪もとけだし、少しだけ暖かくなってきました。雪解け後は春の恵み(たんなる山菜ですが)も花盛りとなります。三月二三日に稚内にもどり、明日(二八日)から継続の上京行動となりました。稚内にいると山歩きも趣味と実益をかねて楽しみの一つですが、なかなかうまく行きません。

(稚内・T)

編集部より 稚内では廣子さんに本当にお世話になってしまいました。とくに二人の若者が。彼らは大喜び、正規の授業と課題授業ともに全力で学ばれたようです。私の「知らない一面」ですって、ちょっとこわいな。

繁栄祈る 日頃のご活躍に衷心より敬意を表します。今後も社会正義の実現のため貴誌のご繁栄を祈ります。がんばりましょう。

(徳島・K)

編集部より 嬉しいお便りに感謝。国会は大政翼賛状況で小泉の発言は過激化の一途。この頃気になるのは中国や朝鮮半島を刺激する国際関係のもの。外交は大政翼賛国会ではありませんからね。